

あいち農産物生産流通レポート

令和3年4月号

	ページ
◎ 情報サロン	
・ 第9回「愛知県茶会」の開催について	(園芸農産課) 1
◎ 東日本情報	
・ ユニバーサル農業で強い農業をつくる	(東京事務所) 2
◎ 西日本情報	
・ 県産農林水産物のイメージアップと本県主要品目のブランド力強化の取組	(食育消費流通課) 4
・ 愛知県産豚肉の消費拡大の取組について	(食育消費流通課) 6
◎ フラワーページ	
・ 県庁舎を美しい県産花きで飾りました!	(園芸農産課) 7
◎ 青果	
・ 愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	9
・ 名古屋・東京市場における青果物の4月の見通し	10
◎ 花き	
・ 切花・鉢花の4月の見通し(県内市場)	22

※今月、「地域トピックス」はありません。

内容についての問合せ先

愛知県農業水産局農政部食育消費流通課

(052)-954-6434

愛知県東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

(03)-5492-5400

第9回「愛知県茶会」の開催について

園芸農産課

愛知県は、抹茶の原料となるてん茶の全国有数の産地であり、古くから茶道文化の盛んな地域です。

そこで、本県では、お茶の消費拡大とお茶文化の振興を図るため、大村知事が席主となり、2012年から毎年度「愛知県茶会」を開催しており、今回が9回目となります。

1 開催趣旨

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、抹茶を点てて客をもてなす場である茶会等が自粛され、茶道界はもとより茶の生産者、販売業者等に大きな影響を及ぼしています。

こうした中、今回の茶会では、茶道界等の協力を得て、新型コロナウイルス感染症対策を徹底するなど、新たな生活様式に対応した茶席でのもてなし方を提案し、茶文化の継承・発展とお茶の需要拡大につなげることを目的として開催しました。

2 開催概要

日 時：令和3年3月20日（土・祝）

開催場所：愛知県公館の庭園

協 力：おもてせんけいどうもんかい表千家同門会 愛知県支部

特別参与 のぐちひろきそうしょう野口裕記宗匠

参加者数：県内市町村長や県議会議員を始め
128名が参加



茶会の様子

3 テーマ、御抹茶、御菓子の銘、水について

テーマ：「希望の光」

御抹茶：ずいうん むかし「瑞雲の昔」 へきえん碧園 詰（豊田市）

御菓子：「うららか」 ふくや 製（一宮市）

水：みやま「深山のしずく」 豊根村にて湧出



知事の呈茶の様子



呈茶に御協力いただいた皆様

ユニバーサル農業で強い農業をつくる

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

障がい者雇用を行い、「ユニバーサル農業」を実現する、京丸園株式会社代表取締役鈴木厚志氏（静岡県浜松市）による講演がありましたので、その取組について紹介します。

1 京丸園株式会社の特色

京丸園株式会社は、経営理念「笑顔創造」の元、障がい者を含めた多様な人たちが活躍できるユニバーサル農業を推進しています。従業員等は役員を含め総数で 99 名おり、そのうち4分の1にあたる 24 名が障がい者です。

年間を通して同じように仕事があるのが重要であることから、計画的に生産でき、回転率の高いものが栽培されており、芽ネギや小型ミツバなどの水耕野菜により収益性を確保しながらオリジナルブランド「京丸姫シリーズ」を確立しています。

これらが評価され、令和元年度農林水産祭の多角化経営部門で天皇杯を受賞しました。

2 障がい者雇用のきっかけ

(1) 「農業者」から「農業経営者」へ

農家の長男として生まれ、20 歳で就農した鈴木氏は、30 歳のときに静岡県農林事務所主催の講座に参加し、「農業者ではなく農業経営者になる」ように指導されたことが契機となり、経営を考えるようになりました。1995年に経営理念を「笑顔創造」と決めたことで目指すものが明らかになりました。元々は「障がい者は働けない」と思い込んでいましたが、障がい者にも力を貸して欲しいと思うようになり、ビジネスパートナーとしての雇用を考えました。苦しくても1年に1人雇用することを目標に、1997年に障がい者の受け入れを始めました。

(2) 農作業体験で初めての受け入れ

障がい者を受け入れる最初のきっかけは、求人募集を見てやってきた障がいを持った子とそのお母さんでした。最初は「農作業は無理だろう」と断ったものの「給料はいらぬから」とお願いされ、農作業体験として受け入れました。すると、健常者の従業員がその子を助けるなどコミュニケーションがとられ、職場が明るい雰囲気になりました。それに伴い、皆の手作業が早くなる効果がありました。そこで、受入側が障がい者にできる作業を考える、受入体制をつくるようになっていきました。

(3) 福祉のプロに任せる部分が必要

障がい者の雇用に際しては、本人に意欲があるかを第一に、次に自力で通勤できるかで判断しています。他人に迷惑をかけないことも組織として重要です。1人で作業できない人には、福祉施設ではないので雇用できないと伝えます。直接相談のあった場合は、一旦福祉施設に入ってもらい、フィルターをかける形にしてミスマッチを防いでいます。また、過去の経験から「福祉は福祉のことを理解している人が担うべき」と考え、社内でも有資格者が主なサポートを担当しています。

3 だれもが働きやすい農園づくり

(1) まずは作業分解

農業では、種まきに水やり、施肥など様々な作業を経て収穫し、それらすべてができて一人前という概念がありますが、雇用に当たっては、農作業の分解がポイントになります。福祉関係者の協力の元、農作業を細分化し、困難さによってレベル分けして図式化した「ナビゲーションマップ」

作業	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	レベル6
1 掃除・草取り	汚れ判断・一人作業	一定作業量可	虫トラロー可			
2 トレー・コンテナ洗い	汚れ判断・一人作業	洗浄機使用可	質・量			
3 段ボール組み立て		作業手順	正確・量			
4 ちんげん菜定植		立作業	正確・量	苗の品質区別		
5 ちんげん菜収穫			刃物使用	正確・箱詰め	品質変化対応	目標収穫量
6 踏みつば下業とり				正確作業	品質変化対応	目標量対応

ナビゲーションマップ

(講演会配付資料から転載)

を作成しました。これにより、どの作業が担えるかが明らかになるため、雇用の判断ができるとともに、本人の希望に沿った作業を担当してもらうことができます。

また、作業の細分化により、まず社員へ、次にパートへ、さらに障がい者へと仕事に移行していきます。作業分解を突き詰めていった結果、かん水など、これまで自分にしかできないと思っていたことが最終的には障がい者が担う作業となりました。

(2) 農業の弱点の認識

ある障がい者を受け入れた際、「トレーをきれいに洗ってください」という指示をしたところ、1時間後にも同じ1枚を洗っていました。その原因が具体性に欠ける指示にあったことを知り、農業では「ちょっと水をかけておいて」といった抽象的な指示が多いことに気づき、その特殊さが、後継者が育ちにくい状況につながっていると認識しました。

(3) 新たな発展へ

その経験がトレー洗浄機の開発につながり、今ではボタン1つで洗浄が開始され、洗浄済みトレー数はカウンターによって自動計測し、たまったトレーの交換時期は音楽が鳴って知らせてくれるようになっています。その結果、作業速度は手洗いの2倍になりました。

また、手先の器用な人のみが任されていた芽ネギの定植は、特別支援学校の先生の言葉がきっかけとなり、その後、プレートの利用によってだれもが早くきれいにできる作業になりました。そのほか、体力のない障がい者のためにミストをつけた結果、チンゲンサイの生育が良くなるという副産物がありました。

(4) 目指す「強い農業」

賃金を支払うレベルの作業ができないために最低賃金の除外申請をしている人が数名いますが、そうした人を最低賃金を支払うレベルに育てることを目指しています。また、能力が向上すれば給与を上げています。障がい者雇用はリスクではなく、その根拠として、障がい者の雇用数が増えるとともに売上げも伸びています。

鈴木氏は「ユニバーサル農園とは、農業+福祉=新産業創出」と考え、目指すのは福祉のための農園ではなく、農業経営における幸せの追求です。従業員にがんばってもらうのではなく、会社が環境を整えます。障がいを持つ人が働ける環境は、高齢者や女性のだれもが働きやすい環境であり、それは鈴木氏の考える「強い農業：潤沢な労働力、年齢構成、男女比のワークバランスのとれた経営」へとつながっていきます。

ユニバーサル農業の考え方は、「より良い農業経営を」というGAP（農業生産工程管理）の原点と通じており、改善を重ねていくことで経営の発展へと結びつきます。

県産農林水産物のイメージアップと本県主要品目のブランド力強化の取組

食育消費流通課

愛知県には、全国トップレベルのブランド力を持つ名古屋コーチン、花き、抹茶、あさり、うなぎなどの他、産出額等が全国上位の農林水産物が多数ありますが、それらの知名度は必ずしも高くありません。

このため、愛知県版地産地消の取組である「いいともあいち運動」と連携して主要品目のさらなるブランド力強化や県産農林水産物全体のイメージアップに加え、本県開発の次代を担う品目・品種のブランド化を推進しています。

1 2020年度いいともあいちブランド力強化事業の取組

(1) あいちの農林水産物全体のイメージアップ

SNSを活用して県産農林水産物のイメージアップ情報を発信した他、料理雑誌(オレンジページ)、首都圏を中心に全国展開するスイーツ・デリカ専門店(フロ・プレステージ)とタイアップして県産食材を使用したメニューキャンペーン「あいはうまい!フェア」(2021.1.12~2.10)を開催し、県産農林水産物をPRしました。

(2) 知事トップセールスの実施

東京都内の量販店において、知事トップセールスを皮切りとした販売促進フェア「あいちの春野菜フェア」を開催し、首都圏の消費者に対し、県産農林水産物の地名度向上、販売促進に向けた取組を実施しました(2021.2.8~2.10, 東急ストア二子玉川ライズ店(東京都世田谷区)始め10店舗)。

例年のトップセールスでは、知事及び農業団体代表者によるセレモニーの他、バラ等の県産花きを使用した花束のプレゼントや、ミニトマトの食べ比べ等の県産農林水産物をPRするイベントを開催していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、今年は知事ビデオメッセージの放映により実施しました。

(3) 主要品目のブランド力強化

名古屋コーチン、花き、抹茶、あさり、うなぎといった本県が誇る主要品目について、イベント等の開催を通じて、それぞれの魅力を県内外に向けて発信しました(表1)。







料理雑誌でのPR広告



知事ビデオメッセージ

表1 主要品目のブランド力強化実施状況

品目	実施状況	
名古屋コーチン	<ul style="list-style-type: none"> 名古屋コーチン消費拡大イベント「名古屋コーチンまつり」の開催。 期日：2021年3月5日（金）～7日（日） 場所：名古屋市農業センターdela ふぁーむ 	
花き	<ul style="list-style-type: none"> バレンタインデーに大切な人に花を贈る「フラワーバレンタイン」運動を推進するPRイベントの開催。 期日：2021年2月6日（土）・7日（日） 場所：mozo ワンダーシティ（名古屋市西区） 県本庁舎に「あいちおもてなし花壇」を設置。 	
抹茶	<ul style="list-style-type: none"> 茶文化と「あいちの抹茶」の素晴らしさを伝える、知事が席主の「愛知県茶会」を開催。 期日：2021年3月20日（土） 場所：愛知県公館（庭園） 	
あさりうなぎ	<ul style="list-style-type: none"> 愛知県産水産物を取り扱う小売店や飲食店として登録した「おさかなスポット」で、「あいちのおさかなカード」を配布し、抽選で県産水産物等が当たる「あいちのおさかなカードキャンペーン」を開催。 期日：2020年8月1日（土）～9月30日（水） 	

(4) 次代を担う品目・品種のブランド化の取組

新たなブランド品目になることが期待される、本県が開発した次代を担う品目・品種について、知名度向上に向けた取組を実施しました（表2）。

表2 次代を担う品目・品種の取組

品目・品種	内容
夕焼け姫 (カンキツ新品種)	<ul style="list-style-type: none"> PR資材作成、配布 消費宣伝会の開催
愛知梨3号 (ニホンナシ新品種)	<ul style="list-style-type: none"> 市場関係者への試食アンケート実施 ブランド化チーム設置 ブランド名を商標登録出願
かがり弁ギク	<ul style="list-style-type: none"> 商業施設等での展示PR



夕焼け姫シンボルマークを活用した資材

愛知県産豚肉の消費拡大の取組について

食育消費流通課

豚熱（CSF）の発生により影響を受けた養豚農家及び関連事業者の支援を行うため、県と畜産関係団体が協力して「あいち産豚肉消費拡大実行委員会」を組織し、県産豚肉の安全性に関する広報活動、PRイベントを開催するなどして、風評被害発生の未然防止対策を実施するとともに、県産豚肉の消費拡大を図ってきました。

これらの活動の結果、県産豚肉に対する風評被害の発生は最低限に抑えられ、現在は消費者が県産豚肉を敬遠する動きは見られなくなりました。

1 あいち産豚肉消費拡大実行委員会

構成団体：愛知県、愛知県経済農業協同組合連合会、公益社団法人愛知県畜産協会、一般社団法人愛知県養豚協会、愛知県養豚農業協同組合、愛知県食肉事業協同組合連合会

設 立：2019（平成31）年3月26日

2 2020年度の取組内容

(1) 消費拡大イベントの開催

消費者に対して体験イベント（親子料理教室）の開催や、豚肉試食の提供、加工品の販売等（豚肉応援フェア）を実施し、県産豚肉の魅力やおいしさを発信しました。

ア あいちの豚肉親子料理教室

開催日時：2020年9月19日（土）・20日（日）

開催場所：りんくうビーチ「SEA AND SKY TERRACE」

イ あいちの豚肉応援フェア

開催日時：①2020年10月23日（金）・24日（土）

②2021年2月20日（土）～3月24日（水）

開催場所：①テラッセ納屋橋

②県内各地（キッチンカーを使用した豚肉メニュー販売）

(2) 協賛活動

県内各地で開催されるイベントに協賛し、試食用豚肉の提供（愛知県畜産フェスタ（2020.10.24、愛知県畜産総合センター））や、県産豚肉を使用したメニューフェア（地産地食フェア（2020.9.14～18、豊田市役所食堂）、あいちポークフェア in セントレア（2021.2.1～2.28、中部国際空港内レストラン等））を開催し、県産豚肉の消費拡大を図りました。

(3) あいちの豚肉応援グッズの作成

県産豚肉販売促進資材（あいちの豚肉応援グッズ）を作成し、県内各地で開催されるイベントで配布するなどして、県産豚肉のPRを行いました。



親子料理教室



豊田市役所食堂での地産地食フェア



あいちポークフェア in セントレア

県庁舎を美しい県産花きで飾りました！

園芸農産課

愛知県は、1962年から58年連続で花の産出額が日本一である「花の王国」で、花の生産、流通、小売、消費団体などとともに「花の王国あいち県民運動実行委員会（以下、実行委員会）」を設立し、「花いっぱい県民運動」を展開しています。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により花の需要が減退し、県内生産者、流通業者、小売店などの花業界関係者は、売上げが減少するなど大きく影響を受けました。

そこで、実行委員会は、花業界全体を支援するため、県の6月補正予算と国の補助事業を活用し、公共施設等における花の活用拡大に取り組みました。

具体的な取組として、9月から3月までの期間に県庁舎11ヵ所で計80回、花のディスプレイを設置しました。ディスプレイには「あいちの花」をふんだんに使用し、ハロウィン、クリスマス、ホワイトデー等、季節ごとにテーマを設けて展示し、多くの来庁者に花に親しんでいただきました。今回は、その一部をご紹介します。

1 実施場所一覧

場 所	実施回数
本庁舎	6回
西庁舎	12回
三の丸庁舎	9回
尾張農林水産事務所一宮支所	4回
一宮保健所稲沢保健分室	5回
海部総合庁舎	7回

場 所	実施回数
知多総合庁舎	7回
西三河総合庁舎	7回
豊田加茂総合庁舎	8回
新城設楽総合庁舎	9回
東三河総合庁舎	6回

2 実施状況



本庁舎 3月 テーマ「ホワイトデー」



西庁舎 3月 テーマ「ホワイトデー」



三の丸庁舎 12月
テーマ「クリスマス」



尾張農林水産事務所一宮支所
10月 テーマ「ハロウィン」



一宮保健所稲沢保健分室
10月 テーマ「ハロウィン」



海部総合庁舎 1月
テーマ「謹賀新年」



知多総合庁舎 12月
テーマ「クリスマス」



西三河総合庁舎 11月
テーマ「花マルシェ」



豊田加茂総合庁舎 11月
テーマ「豊田地域の花」



新城設楽総合庁舎 2月
テーマ「バレンタインデー」



東三河総合庁舎 9月
テーマ「重陽の節句」

愛 知 産 青 果 物 の 動 向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

前年並 : ± 1 % 台以下
 わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

○ 名古屋中央卸売市場（品目：チンゲンサイ）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産	愛知産	
2年実績	1, 166	573 (49%)	297	264 静岡(45%) 茨城(5%)
3年見通し	1, 300	—	300	—
概要と見通し		卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>愛知、静岡、茨城を中心に入荷する。年末は寒波で出遅れていたが、3月下旬時点では回復して生育順調。新型コロナウイルス感染症の影響で業務需要が少なく、量販店中心の販売で安値傾向にある。気温の上昇に伴い、家庭料理も鍋物から炒め物中心となるため、量販店での荷動きも良くなってきている。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年並の見込み。</p>		<p>愛知は生育順調で品質も良好である。栽培面積の増減もなく、現在は順調な入荷状況となっている。4月に入れば単価も上向いてくると予想される。今後も、引き続き、鮮度の良い商品の出荷をお願いしたい。</p>		

○ 東京都中央卸売市場（品目：さやえんどう）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産	愛知産	
2年実績	1, 711	329 (19%)	1, 168	1, 208 鹿児島(24%) 長崎(11%) 福島(10%)
3年見通し	1, 700	—	1, 200	—
概要と見通し		卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>本県産の他、鹿児島、長崎などからの入荷となる。 前年は暖冬の影響で大きく前進化したが、今年も前進傾向ながら前年ほどではない。4月以降は入荷量が徐々に減少していく、堅調な価格推移になると見込まれる。 入荷量は前年並となり、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>		<p>スナップエンドウ、きぬさやえんどうともに、品質が高く、顧客から強い信頼を得ている。今後も作付面積を維持して、安定した供給、品質の維持をお願いしたい。 また、きぬさやえんどうは、従来の2kg箱から1kg箱がメインに切り替わったことで、販売先が広がり、高価格での販売も可能となった。今後も1kg箱を継続してもらいたい。</p>		

※さやえんどうに、きぬさやえんどう、スナップエンドウ、砂糖えんどう、オランダさやを含む。

名古屋・東京市場における青果物の4月の見通し

名古屋中央卸売市場

3月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	前年主要産地 (%)				
				上旬	中旬	下旬		
野菜計	28年	33,834	242	250	246	233	愛知 24%	
	29年	32,775	239	253	241	220	北海道 17%	
	30年	32,444	209	213	210	204	茨城 12%	
	元年	35,781	217	226	225	201	鹿児島 9%	
	2年	35,876	237	239	245	227	徳島 8%	
	5ヵ年平均	34,142	229	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	3年見通し	33,700	221	—	—	—		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	愛知、北海道などから入荷する。温暖な気候により、各品目とも生育は概ね順調。葉菜類の一部で前進傾向がみられる。業務需要の低迷により、はくさいとキャベツの単価は高値の前年を大幅に下回る見込み。入荷量と価格はともに前年をかなり下回る見込み。							
	だいこん	28年	2,058	108	125	113	94	千葉 48%
29年		1,733	104	120	102	96	愛知 41%	
30年		1,882	86	84	89	93	鹿児島 6%	
元年		2,186	92	96	111	75	長崎 2%	
2年		1,608	118	129	111	120	香川 2%	
5ヵ年平均		1,893	101	110	105	94	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
3年見通し		1,800	98	110	95	90		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
千葉、愛知を中心に鹿児島からも入荷する。各産地ともに生育順調。千葉は概ね平年並の入荷を見込む。愛知は中旬以降にピークを迎え、入荷量は少なかった前年を上回る見込み。入荷量は前年をかなり上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。								
にんじん		28年	1,839	174	152	173	192	徳島 97%
	29年	1,896	173	185	187	149	愛知 3%	
	30年	1,532	234	231	231	239		
	元年	2,321	122	109	127	128		
	2年	2,434	152	177	148	136		
	5ヵ年平均	2,004	166	166	168	163	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	3年見通し	2,300	150	170	150	130		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	ほぼ全量が徳島からの入荷となる。徳島は生育良好で平年並の入荷を見込む。サイズはM・S中心で、単価は前年同様、下旬に向けて下げていくか。愛知は前倒しで、入荷量は少ない見込み。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並の見込み。							

注) 「ねぎ」は「こねぎ」を含む。
「なす」は「長なす」と「べいなす」を含む。

東京都中央卸売市場

3月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
野菜計	28年	131,769	267	272	264	茨城	15%	
	29年	129,544	260	275	245	千葉	14%	
	30年	125,191	226	223	227	北海道	9%	
	元年	128,921	242	245	226	神奈川	7%	
	2年	124,597	258	256	258	徳島	6%	
	5ヵ年平均	128,004	251	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
	3年見通し	128,000	240	—	—			
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、千葉など関東産地や、北海道からの入荷が中心となる。葉菜類を中心に前進傾向に加え、低温や干ばつの影響が残っていた品目も回復する。十分な数量が出回り、相場は軟化が懸念される。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
	<p>茨城、千葉など関東産地や、北海道からの入荷が中心となる。葉菜類を中心に前進傾向に加え、低温や干ばつの影響が残っていた品目も回復する。十分な数量が出回り、相場は軟化が懸念される。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							
	だいこん	28年	10,805	104	113	91	千葉	77%
29年		11,375	94	108	84	茨城	12%	
30年		10,494	83	73	91	神奈川	8%	
元年		9,982	96	93	81	福岡	2%	
2年		9,487	112	108	122	鹿児島	1%	
5ヵ年平均		10,429	98	99	101	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
3年見通し		10,000	100	110	100			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉を中心に茨城、神奈川などからの入荷となる。神奈川は高温と適度な降雨により前進化し残量少ないものの、後続の千葉は生育順調。入荷は順調に進む一方、気温上がると需要が落ち込み価格は軟化か。 入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>						
<p>千葉を中心に茨城、神奈川などからの入荷となる。神奈川は高温と適度な降雨により前進化し残量少ないものの、後続の千葉は生育順調。入荷は順調に進む一方、気温上がると需要が落ち込み価格は軟化か。 入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>								
にんじん		28年	7,313	163	134	159	徳島	85%
	29年	8,350	168	175	148	北海道	4%	
	30年	6,640	214	210	220	千葉	3%	
	元年	7,844	121	108	128	静岡	3%	
	2年	9,265	158	179	145	青森	1%	
	5ヵ年平均	7,882	163	161	166	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
	3年見通し	8,200	160	170	160			
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>徳島を中心に北海道、千葉、静岡等からの入荷となる。主力の徳島は作柄良好でML中心の小ぶりながら順調な入荷でピークを迎える。 入荷量は多かった前年をかなり下回り、価格は前年並となる見込み。</p>					
	<p>徳島を中心に北海道、千葉、静岡等からの入荷となる。主力の徳島は作柄良好でML中心の小ぶりながら順調な入荷でピークを迎える。 入荷量は多かった前年をかなり下回り、価格は前年並となる見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

3月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)			
			上旬	中旬	下旬				
ほうき	28年	1,716	101	120	99	92	茨城	83%	
	29年	1,676	151	199	156	101	愛知	8%	
	30年	2,045	61	57	68	59	兵庫	5%	
	元年	2,233	76	79	88	61	宮崎	3%	
	2年	2,646	199	155	192	244	熊本	3%	
	5ヵ年平均	2,063	121	120	124	119	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
	3年見通し	2,200	70	70	70	70			
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							数量 単価 円/kg	
	茨城を中心に愛知、兵庫などから入荷する。茨城は暖冬の影響でやや前進傾向。干ばつによる品質低下が懸念される。愛知は前年並の順調な入荷を見込む。昨年の高値を受け、産地の生産意欲が高まっている。入荷量は前年を大幅に下回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。							7,000 t 350	
								5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 月	
キャベツ	28年	3,966	109	95	113	123	愛知	85%	
	29年	4,001	109	132	107	101	滋賀	4%	
	30年	3,441	91	87	103	89	兵庫	3%	
	元年	3,797	85	93	94	73	神奈川	3%	
	2年	3,846	136	106	139	158	茨城	3%	
	5ヵ年平均	3,810	106	103	111	109	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
	3年見通し	3,800	90	90	90	90			
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							数量 単価 円/kg	
	愛知を中心に神奈川、兵庫などから入荷する。各産地とも生育順調。愛知の春キャベツも生育順調、冬キャベツの一部で小玉傾向がみられる。業務需要の低迷により、価格の乱高下はない見込み。入荷量は前年並で、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。							6,000 t 300	
								5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 月	
ほうれんそう	28年	297	504	523	460	549	岐阜	41%	
	29年	293	471	450	451	552	愛知	31%	
	30年	264	509	457	542	537	茨城	19%	
	元年	345	449	500	510	364	静岡	5%	
	2年	305	572	539	617	568	福岡	1%	
	5ヵ年平均	301	500	495	516	509	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
	3年見通し	300	500	500	500	500			
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							数量 単価 円/kg	
	愛知、岐阜、茨城を中心に入荷する。愛知は露地物が終盤を迎え、ハウス物は引き続き順調な入荷を見込む。茨城は品種の切り替わり時期で入荷は少ないか。岐阜は降雪少なく、中下旬から入荷する見込み。入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。							600 t 1,200	
								5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 月	

東京都中央卸売市場

3月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	28年	6,028	98	125	95	80	茨城 93%
	29年	6,152	141	192	148	92	長崎 2%
	30年	6,630	46	40	49	50	鹿児島 2%
	元年	6,399	74	77	84	58	
	2年	6,485	188	158	187	215	
	5ヵ年平均	6,339	109	117	112	99	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	6,600	45	50	45	40	
さい	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>茨城からの入荷がほとんどを占める。春作は干ばつにより初期生育が遅れていたが、その後の気温高と適度な降雨により生育順調。中下旬にピークを迎え、潤沢な入荷が見込まれる。</p> <p>入荷量は前年並となり、価格は高騰した前年を大幅に下回る見込み。</p>						
キャベツ	28年	17,540	115	104	113	126	神奈川 44%
	29年	19,569	118	139	115	103	愛知 29%
	30年	18,977	90	95	99	76	千葉 23%
	元年	19,148	90	90	103	73	茨城 2%
	2年	17,728	139	121	137	164	鹿児島 1%
	5ヵ年平均	18,592	110	110	113	107	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	18,500	90	95	90	85	
ほうれんそう	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>神奈川、本県、千葉からの入荷が中心となる。各産地とも気温高と適度な降雨で生育は前進化傾向。本県は前倒しにより量を減らすも全体量は潤沢と見込まれ、相場展開は厳しいと予想される。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は高騰した前年を大幅に下回る見込み。</p>						
ほうれんそう	28年	1,269	512	524	482	529	茨城 43%
	29年	1,148	490	488	470	512	群馬 36%
	30年	1,091	488	420	591	475	埼玉 9%
	元年	1,299	425	495	491	311	千葉 3%
	2年	1,260	559	545	591	545	熊本 2%
	5ヵ年平均	1,213	495	497	524	473	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	1,280	430	450	430	410	
ほうれんそう	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>茨城、群馬など関東産地からの入荷が中心となる。各産地とも生育順調で豊作基調。主力産地では前進傾向もみられ、端境なく順調に入荷が進む一方、相場は軟化すると見込まれる。</p> <p>入荷量は前年並となり、価格は高騰した前年を大幅に下回る見込み。</p>						

名古屋市中央卸売市場

3月16日現在

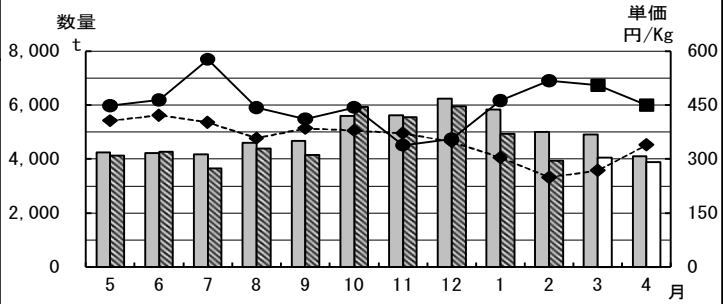
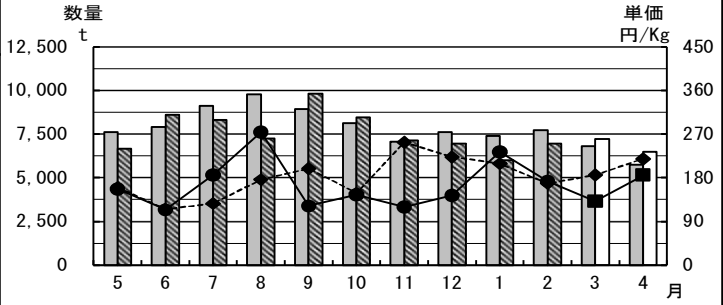
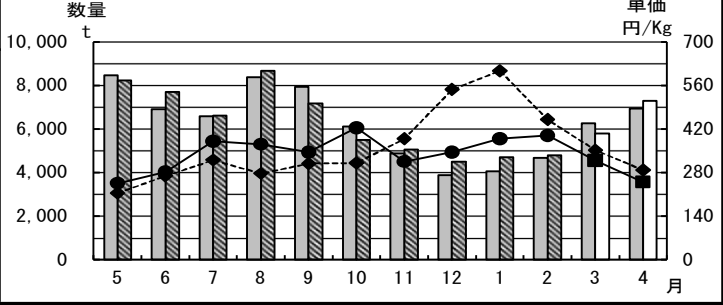
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	28年	666	441	404	466	480	大分 39%
	29年	660	411	404	427	415	愛知 12%
	30年	650	341	309	337	391	鳥取 10%
	元年	715	350	316	362	378	静岡 8%
	2年	716	400	381	397	423	群馬 7%
	5ヵ年平均	681	388	363	398	417	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	700	383	370	380	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>大分、愛知、鳥取などから入荷する。白ねぎは主要産地の大分が順調で、増量した前年並の入荷を見込む。静岡と鳥取はピークを迎える。愛知の越津ねぎは生育順調で終盤となり、入荷は少ない見込み。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
し	28年	1,883	219	241	228	195	兵庫 36%
	29年	1,795	204	232	193	194	茨城 8%
	30年	1,782	160	153	174	154	愛知 5%
	元年	1,703	214	233	227	184	長野 4%
	2年	1,669	240	208	244	272	長崎 2%
	5ヵ年平均	1,766	207	214	213	199	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	1,700	200	200	200	200	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、兵庫を中心に入荷する。茨城と兵庫は生育順調。長野は年々入荷が早まり、今年も温暖のため、早期入荷の見込み。愛知の入荷量は前年を下回るか。加工業務需要が少なく、高単価は見込めない。 入荷量は前年並で、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
きゅうり	28年	1,560	263	265	285	256	愛知 49%
	29年	1,430	276	261	286	282	宮崎 18%
	30年	1,797	208	209	207	209	高知 13%
	元年	2,016	220	243	220	202	群馬 10%
	2年	1,769	275	301	288	245	鹿児島 5%
	5ヵ年平均	1,714	246	255	254	236	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	1,800	266	280	280	240	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知を中心に宮崎、高知、群馬などから入荷する。各産地ともに天候に恵まれ、順調な入荷を見込む。愛知は生育順調で、入荷量は平年よりやや多い見込み。春きゅうりの群馬と長野は中旬にピークを迎える。 入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

3月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	28年	4,176	427	378	423	473	千葉 38%
	29年	4,146	363	361	370	356	埼玉 20%
	30年	3,830	330	283	332	388	茨城 14%
	元年	4,178	306	260	321	345	栃木 8%
	2年	4,092	339	329	298	394	群馬 5%
	5ヵ年平均	4,084	353	323	349	391	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	3,900	450	420	450	480	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉、埼玉など関東産地からの入荷となる。一部産地では干ばつの影響が残り作柄は良くない。また、細物傾向も残り、初夏ネギが出回り始めるも出回りは少なめと見込まれる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
ぎ							
し	28年	7,991	213	246	220	180	茨城 62%
	29年	7,381	192	220	182	174	兵庫 15%
	30年	7,327	147	145	159	136	群馬 4%
	元年	6,819	199	215	223	158	栃木 4%
	2年	5,755	219	194	227	240	福岡 4%
	5ヵ年平均	7,055	193	205	201	175	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	6,500	185	190	185	180	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城を中心とした関東産地や兵庫などからの入荷となる。気温高で各産地生育順調。主力の茨城、兵庫は2L比率が高めで出荷ペースは前進傾向。群馬が中旬から出始め、端境は限定的か。 入荷量は少なかった前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
ス							
きゅうり	28年	7,764	263	261	280	251	群馬 26%
	29年	6,913	279	273	286	174	埼玉 23%
	30年	7,446	217	225	209	217	宮崎 14%
	元年	7,339	229	256	235	197	千葉 13%
	2年	6,932	288	324	296	251	茨城 11%
	5ヵ年平均	7,279	255	267	261	219	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	7,300	250	280	250	220	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、埼玉など関東産地を中心に宮崎からの入荷となる。生育は概ね順調で、産地によっては病害がみられるも概ね回復。多くの産地がピークに入り、潤沢な入荷が見込まれる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
う							

名古屋市中央卸売市場

3月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
なす	28年	785	378	384	384	372	熊本 52%
	29年	667	367	362	374	369	愛知 41%
	30年	793	327	345	320	314	高知 4%
	元年	851	335	339	333	337	宮崎 3%
	2年	793	376	372	373	383	
	5ヵ年平均	778	356	360	356	354	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	820	330	340	330	320	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知が中心となる。長ナスは熊本と宮崎、千両ナスは愛知と高知から入荷する。各産地ともに気温の上昇と日照時間の増加に伴い、順調な入荷を見込む。愛知は平年並の入荷となるか。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
トマト	28年	1,466	390	432	416	342	熊本 53%
	29年	1,540	313	338	326	282	愛知 20%
	30年	1,502	300	307	302	292	三重 14%
	元年	1,612	310	360	322	268	岐阜 11%
	2年	1,267	356	406	355	319	高知 1%
	5ヵ年平均	1,477	332	367	343	299	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	1,500	320	350	330	300	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本を中心に愛知、三重、岐阜から入荷する。各産地ともに順調に入荷し、堅調な単価を見込む。愛知は3月に比べると増量し、平年並の入荷となる見込み。気温の上昇に伴い、消費も伸びると予想される。 入荷量は少なかった前年を大幅に上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
ミニ トマト	28年	503	744	790	807	666	熊本 59%
	29年	529	620	668	632	574	愛知 30%
	30年	566	593	599	596	582	和歌山 6%
	元年	623	625	676	639	568	宮崎 4%
	2年	542	646	721	654	580	三重 1%
	5ヵ年平均	553	643	688	662	592	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	550	500	500	500	500	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知を中心に入荷する。昨年度は秋から天候に恵まれ、大きな崩れもなく、順調に入荷している。4月は週を追うごとに増量し、下旬に向けてピークを迎える。愛知の入荷量は前年を上回る見込み。 入荷量は前年並で、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

3月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	28年	3,730	418	426	409	421	高知 55%
	29年	3,336	438	434	445	436	福岡 14%
	30年	3,623	370	356	368	388	熊本 10%
	元年	3,649	400	408	413	379	群馬 6%
	2年	3,373	443	440	441	448	佐賀 3%
	5ヵ年平均	3,542	413	412	414	414	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	3,500	400	400	400	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>高知を中心に福岡など西南暖地、群馬からの入荷となる。各産地とも天候に問題なく、生育順調。一部産地では成り疲れがみられるものの樹勢は良好で、早期に回復が見込まれる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
ト マ ト	28年	7,845	403	446	421	364	熊本 32%
	29年	8,169	336	373	344	295	栃木 26%
	30年	7,464	333	338	331	329	愛知 12%
	元年	7,288	360	404	376	308	千葉 5%
	2年	6,132	412	454	407	377	埼玉 4%
	5ヵ年平均	7,380	367	401	375	333	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	7,500	320	350	320	290	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、栃木、本県からの入荷が中心となる。小玉傾向であったが今後は気温上昇により肥大が進む。各産地とも生育は順調で今後増量していく。気温上昇で需要は高まるも潤沢な入荷で相場は軟化か。 入荷量は少なかった前年を大幅に上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	28年	2,101	676	716	741	612	熊本 44%
	29年	2,075	565	616	576	511	愛知 20%
	30年	2,122	544	546	541	545	千葉 11%
	元年	2,279	591	660	597	522	宮崎 7%
	2年	2,087	604	661	610	546	静岡 7%
	5ヵ年平均	2,133	596	640	613	547	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	2,200	540	560	540	520	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、本県、千葉からの入荷が中心となる。大玉トマト同様に、各産地とも天候に恵まれて生育順調で、入荷量は増加傾向となると見込まれる。出回り量は十分で相場展開は厳しいと見込まれる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

3月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
ピーマン	28年	679	407	424	412	431	鹿児島 39%	
	29年	667	382	367	382	413	宮崎 31%	
	30年	695	312	351	302	333	茨城 17%	
	元年	693	426	511	431	364	高知 13%	
	2年	612	631	604	627	613		
	5ヵ年平均	669	427	448	426	426	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	3年見通し	600	470	560	450	400		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>秋冬作の鹿児島、宮崎、高知を中心に順調に入荷する。日照時間の増加により、下旬から北関東、茨城からも入荷する。昨年は全体的に高値であったが、今年は平年並の単価となるか。 入荷量は前年並で、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
	<p>鹿冬作の鹿児島、宮崎、高知を中心に順調に入荷する。日照時間の増加により、下旬から北関東、茨城からも入荷する。昨年は全体的に高値であったが、今年は平年並の単価となるか。 入荷量は前年並で、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>							
	白菜	28年	2,642	268	274	287	256	鹿児島 73%
29年		3,357	223	233	225	217	北海道 14%	
30年		2,724	132	122	126	152	長崎 13%	
元年		3,149	143	133	147	146		
2年		3,439	187	215	173	181		
5ヵ年平均		3,062	190	196	190	189	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
3年見通し		2,800	260	270	260	250		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>鹿児島を中心に入荷する。鹿児島は寒波の影響で入荷が遅れ、離島産は不作で数量減の高値の見込み。北海道の貯蔵物はほぼ終了。長崎の生育は平年並で、中旬からの入荷を見込む。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>						
<p>鹿児島を中心に入荷する。鹿児島は寒波の影響で入荷が遅れ、離島産は不作で数量減の高値の見込み。北海道の貯蔵物はほぼ終了。長崎の生育は平年並で、中旬からの入荷を見込む。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>								
たまねぎ		28年	6,353	75	82	81	73	北海道 73%
	29年	6,164	102	118	113	87	愛知 25%	
	30年	6,085	91	103	96	82	熊本 1%	
	元年	6,387	106	116	102	104		
	2年	7,506	63	70	64	59		
	5ヵ年平均	6,499	86	97	90	80	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	3年見通し	6,500	90	90	90	90		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、愛知を中心に入荷する。北海道は計画出荷で、多かった前年よりも少ない見込み。愛知は段ボール箱(10kg)中心に、ネット(20kg)が中旬から入荷する。箱は小玉、ネットは2L・Lサイズが中心か。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
	<p>北海道、愛知を中心に入荷する。北海道は計画出荷で、多かった前年よりも少ない見込み。愛知は段ボール箱(10kg)中心に、ネット(20kg)が中旬から入荷する。箱は小玉、ネットは2L・Lサイズが中心か。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

3月31日現在

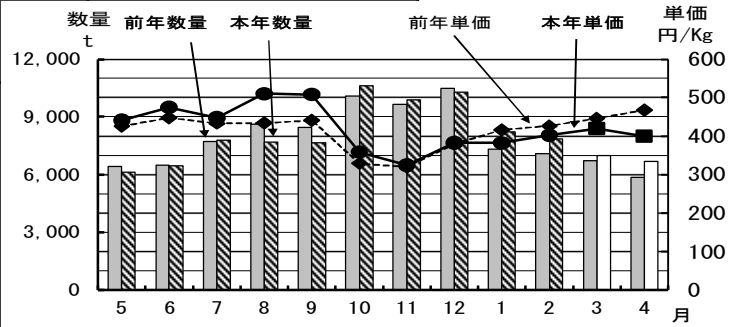
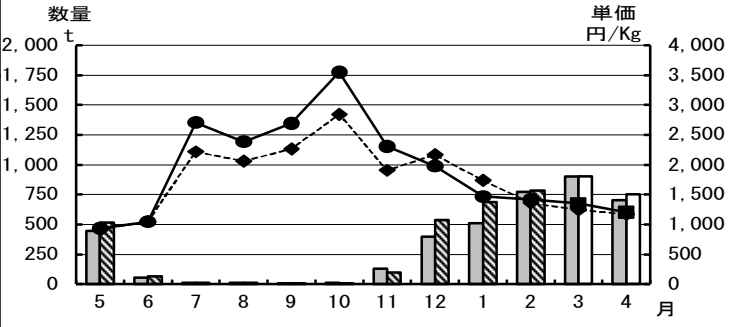
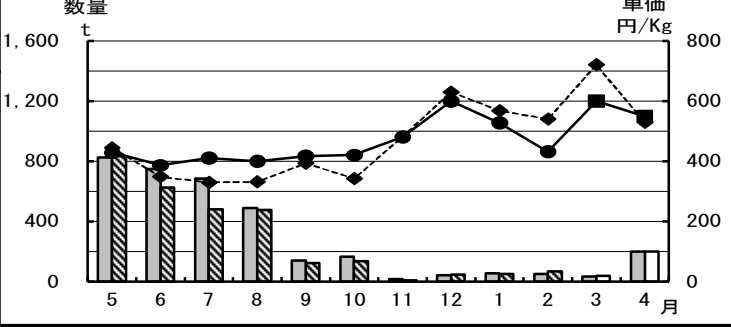
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
ピーマン	28年	2,330	455	470	445	454	茨城 50%	
	29年	2,235	427	416	421	446	宮崎 26%	
	30年	2,368	387	414	373	374	高知 15%	
	元年	2,426	485	562	480	425	鹿児島 7%	
	2年	2,399	648	650	650	646	沖縄 1%	
	5ヵ年平均	2,352	482	504	475	470	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	3年見通し	2,400	460	560	440	380		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							<p>茨城を中心に、西南暖地からの入荷となる。主力の茨城は肥大が良くなく平年より量を減らす一方、高知等の西南暖地は生育順調で気温上昇により入荷量は増加していき、全体量に不足はないと見込まれる。 入荷量は前年並となり、価格は高騰した前年を大幅に下回る見込み。</p>
	ばれいしょ	28年	7,876	238	243	246	227	鹿児島 47%
29年		8,751	223	229	229	209	北海道 40%	
30年		8,333	115	110	112	125	長崎 13%	
元年		8,884	132	126	133	140		
2年		10,013	158	161	150	163		
5ヵ年平均		8,771	172	173	172	172	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
3年見通し		8,300	250	280	250	220		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							<p>鹿児島からの入荷が本格化し、貯蔵ものの北海道は終盤となる。鹿児島は作柄が良くなく遅れがみられ、北海道も残量が少ない。長崎からの入荷物が出回り始めるまでは高値が続くと予想される。 入荷量は豊作だった前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>	
たまねぎ		28年	14,423	87	85	90	86	北海道 49%
	29年	12,151	131	136	134	124	佐賀 44%	
	30年	11,905	102	110	99	99	熊本 2%	
	元年	13,189	122	124	126	114	長崎 2%	
	2年	14,258	59	70	64	48	愛知 1%	
	5ヵ年平均	13,185	99	103	101	93	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	3年見通し	14,000	80	90	80	70		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							<p>北海道が終盤になり佐賀からの入荷が本格化する。北海道は貯蔵もので、平年並の量がある。佐賀は前年同様に前進傾向で肥大も進む。総じて潤沢な出回りで相場展開は前年ほどではないが厳しいか。 入荷量は前年並となり、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。</p>

名古屋市中央卸売市場

3月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	前年主要産地 (%)			
				上旬	中旬	下旬	
果	28年	6,792	435	454	425	426	熊本 21%
	29年	6,507	414	413	403	412	青森 20%
	30年	6,083	440	443	431	430	フィリピン 17%
	元年	6,997	436	419	432	432	愛知 10%
	2年	5,854	468	455	469	445	愛媛 6%
	5ヵ年平均	6,447	438	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	6,700	400	—	—	—	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	いちご、かんきつ類、りんごなどが主な品目となる。かんきつ類は数量のあった3月に比べ、4月はかなり減少する見込み。りんごは昨年高値で推移したが、本年は産地の在庫量が多く安値の予想。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。						
いちご	28年	956	910	900	865	964	愛知 57%
	29年	824	1,054	1,115	1,039	1,011	熊本 25%
	30年	761	1,102	1,148	1,079	1,090	鹿児島 4%
	元年	924	1,045	1,065	1,054	1,053	佐賀 3%
	2年	706	1,171	1,199	1,188	1,139	宮崎 3%
	5ヵ年平均	834	1,048	1,075	1,035	1,046	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	750	1,200	1,200	1,200	1,200	
いちご	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	愛知を中心に熊本などからも入荷する。愛知は4番果の花芽が弱く、入荷量は下旬に向けて減少するが、少なかった前年よりも増量する見込み。熊本は大きなピークもなく、入荷量は前年をやや下回るか。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。						
その他メロン(アールスメロンを除く)	28年	262	396	327	326	432	熊本 77%
	29年	327	321	193	339	441	鹿児島 14%
	30年	207	459	377	463	496	メキシコ 5%
	元年	236	493	526	482	493	長崎 1%
	2年	201	530	612	577	503	愛知 1%
	5ヵ年平均	247	427	384	423	468	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	200	550	550	550	550	
その他メロン(アールスメロンを除く)	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	熊本、鹿児島、メキシコから入荷する。熊本は中旬頃から徐々に増量するが、作付面積は前年より減少している。鹿児島は作柄良好、前倒しで上旬から入荷する。メキシコは一時期より大幅に入荷減の見込み。入荷量は前年並で、価格は高値だった前年をやや上回る見込み。						

東京都中央卸売市場

3月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	28年	26,543	477	472	474	487	青森 19%
	29年	27,127	454	490	448	422	熊本 16%
	30年	23,963	490	518	480	469	愛媛 12%
	元年	26,863	480	490	474	477	フィリピン 9%
	2年	23,649	502	512	503	490	栃木 8%
	5ヵ年平均	25,629	480	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	24,500	480	—	—	—	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	いちご、りんご、かんきつ類を中心に、施設果樹も入荷する。好天により全体的に入荷潤沢で前進傾向だが、かんきつ類は1月の降雪の影響で入荷減、ハウスみかんは主力の大分が生産者減で入荷を減らすか。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。						
いちご	28年	4,930	949	923	979	948	栃木 46%
	29年	4,654	1,082	1,192	1,049	962	福岡 16%
	30年	4,291	1,095	1,152	1,050	1,046	茨城 11%
	元年	4,912	1,096	1,103	1,101	1,079	静岡 8%
	2年	4,104	1,156	1,172	1,140	1,151	佐賀 6%
	5ヵ年平均	4,578	1,072	1,104	1,062	1,034	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	4,300	1,150	1,150	1,150	1,150	
いちご	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	栃木を中心に福岡、茨城などの各地から入荷する。3番果が4月上旬までダラダラと入荷し、その後は4番果も連続するため潤沢な入荷を見込む。後半にかけては、気温の上昇を受けて小玉での入荷となる。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並となる見込み。						
その他メロン(アールスメロンを除く)	28年	766	583	605	542	635	茨城 42%
	29年	797	535	518	539	530	熊本 38%
	30年	608	542	632	561	512	メキシコ 8%
	元年	735	537	629	568	498	ホンジュラス 6%
	2年	648	530	650	559	497	宮崎 3%
	5ヵ年平均	711	546	603	553	537	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	630	550	570	550	530	
その他メロン(アールスメロンを除く)	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	熊本からアンデス、クインシー、茨城からオトメメロンが入荷する。各産地とも生育は順調で肥大もよく、4月下旬から入荷のピークを迎える見込み。産地によっては作付減のため、入荷量は減少する見込み。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや上回る見込み。						

切花・鉢花の4月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 3月31日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	28年	1,677	55	
		29年	1,628	34	
		30年	1,781	35	
		元年	1,672	38	
		2年	1,179	27	
	5カ年平均	1,587	38		
3年見通し	1,300	35			
概要	愛知中心に入荷する。中旬頃から年末の返しも始まり、入荷量は伸びてくる。下旬までは動きが鈍そうだが、20日以降は母の日参り等での需要に期待。				
小 ぎ	実績	28年	1,227	34	
		29年	1,104	19	
		30年	1,153	26	
		元年	980	33	
		2年	824	21	
	5カ年平均	1,058	27		
3年見通し	900	25			
概要	沖縄中心の入荷となる。上旬は少ない見通しだが、中旬からは年末の返しも始まり、入荷量は安定してくる。20日以降はGWの母の日参り等での需要に期待。				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	28年	1,237	50	
		29年	1,172	34	
		30年	1,547	27	
		元年	1,246	43	
		2年	996	32	
	5カ年平均	1,240	37		
3年見通し	1,100	40			
概要	愛知、長野、和歌山中心に入荷する。輸入はコロンビア、中国中心、便の不安定さが引き続き懸念される。愛知県産は前半スタンダードが品薄予想で中旬頃から増え、スプレーはだらだら出荷の見込み。				
か す み	実績	28年	230	75	
		29年	196	60	
		30年	238	52	
		元年	182	78	
		2年	161	55	
	5カ年平均	201	64		
3年見通し	180	65			
概要	高知、和歌山、熊本からの入荷となる。上中旬に高知、熊本の入荷が増える見込み。それに伴い単価も落ちついていきそう。				

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	28年	289	191	
		29年	262	163	
		30年	301	153	
		元年	263	184	
		2年	231	123	
		5カ年平均		269	
	3年見通し		250	150	
概要	<p>オリエンタルは高知、宮崎、埼玉からの入荷となる。中旬には年末の返し分が出荷され、数量は多くなりそうであるが、新型コロナウイルス感染症の影響から作付けを減らしている産地もあるため、見通しづらい。</p>				
洋	実績	28年	420	82	
		29年	377	72	
		30年	356	78	
		元年	410	73	
		2年	206	88	
		5カ年平均		354	
	3年見通し		300	80	
概要	<p>愛知、徳島、静岡、鹿児島などからの国産品及び輸入品が入荷する。シンビジウムは徐々に減少に向かう。デンファレでは、アンナが例年より早く減少していく見込み。</p>				
ば	実績	28年	864	66	
		29年	750	63	
		30年	849	48	
		元年	727	65	
		2年	505	56	
		5カ年平均		739	
	3年見通し		700	60	
概要	<p>愛知、岐阜、三重を中心に入荷する。輸入の入荷がほぼなくなり、高冷地の出荷が始まる。前半は年度始めで少々動くが、中旬は出荷が増えるとともに厳しい販売となるが、最終週は母の日、GW等で少しづつ動き出す見込み。</p>				
枝	実績	28年	1,540	49	
		29年	1,405	47	
		30年	1,512	48	
		元年	1,348	56	
		2年	835	49	
		5カ年平均		1,328	
	3年見通し		1,000	50	
概要	<p>長野、静岡、岐阜を中心に入荷する。年度も変わり、ドーダン、スノーボール、菖蒲、ナルコ、姫リョーブなど本格的に始まり、冬から春の促成花木から露地物に代わり、新芽時期に入る。イベントなど少ない月である。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
カラ	実績	28年	34,437	488	
		29年	11,959	536	
		30年	33,365	438	
		元年	30,014	459	
		2年	36,659	430	
	5ヶ年平均	29,287	460		
	3年見通し	36,500	430		
概要	<p>早出し出荷は作付減となるが、入荷量は前年並か。母の日需要が高まる4月最終週より入荷量が急増する。鉢サイズの割合も概ね変わらず、5号鉢中心の入荷となる。注文中心の入荷となるため、競売品は品薄になる見込み。価格面では、入荷量の減少に伴い安定。大輪のピンク、黄色の引き合いが変わらず強い。</p> <p>前年4月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位埼玉（46.6%）、2位長野（33.6%）、3位新潟（8.7%）となっている。</p>				
ファレノ	実績	28年	43,016	2,897	
		29年	27,799	3,365	
		30年	48,427	2,564	
		元年	43,014	3,031	
		2年	46,450	1,932	
	5ヶ年平均	41,741	2,695		
	3年見通し	45,000	1,978		
概要	<p>入荷量は前年より減少か。昨年、新型コロナウイルス感染症の影響により相場が厳しかったため、警戒して輸入苗の供給を抑えていた。単価面では出荷量が減る分、一昨年よりは上がる見込み。</p> <p>前年4月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（45.3%）、2位静岡（14.6%）、3位熊本（10.9%）となっている。</p>				
バラ及びミニバラ	実績	28年	89,611	249	
		29年	61,740	182	
		30年	75,413	190	
		元年	64,699	217	
		2年	76,851	205	
	5ヶ年平均	73,663	211		
	3年見通し	76,000	204		
概要	<p>入荷量は前年より減少か。作付け減が要因か。天候のために前倒しの見込み。相場中値安定が予想される。4月中はなかだるみ、様子見のために安値が予想される。</p> <p>前年4月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（60.4%）、2位岐阜（27.5%）、3位愛媛（6.2%）となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ハイ ド ラ ン ジ ア	実績	28年	217,051	764	
		29年	121,784	696	
		30年	191,128	771	
		元年	161,334	823	
		2年	223,359	853	
	5ヶ年平均		182,931	789	
	3年見通し		240,000	813	
概要	<p>入荷量は前年より増加か。天候の不順が無ければ順調に入荷が見込める。近年4号サイズが増産傾向にあり、また3.5号以下のポット出荷が大幅に増えている見込み。</p> <p>前年4月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(69.3%)、2位群馬(9.3%)、3位茨城(4.9%)となっている。</p>				
ス パ テ ィ フ ィ ラ ム	実績	28年	24,439	357	
		29年	17,402	432	
		30年	24,602	356	
		元年	19,972	370	
		2年	20,661	365	
	5ヶ年平均		21,415	373	
	3年見通し		19,000	370	
概要	<p>昨年同様、サイズは3号～4号中心の出荷がメインになる見込み。近年5号以上の生産は減少傾向のため、競売比率も下がって平均単価は上がると思われる。出荷は4月中旬以降から母の日までの出荷がメインになる見込み。今期を最後に3号の生産者がスパティの生産を辞められるので、来期は今以上に入荷量は減る見込み。</p> <p>前年4月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位三重(61.1%)、2位静岡(20.6%)、3位愛知(15.3%)となっている。</p>				
カ ー ネ ー シ ヨ ン	実績	28年	202,439	392	
		29年	40,834	276	
		30年	117,723	344	
		元年	89,249	352	
		2年	133,221	349	
	5ヶ年平均		116,693	358	
	3年見通し		130,000	346	
概要	<p>作付け量が大幅減のため、入荷量は自ずと減少か。生育は順調のため、出荷量はさほど下がらない予想だが5号中心に定番赤、ピンクが相対率が高く競売比率が大幅に減る見込み。</p> <p>前年4月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(50.2%)、2位群馬(22.5%)、3位埼玉(8.1%)となっている。</p>				



いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

＝もっと愛知県産品を食べよう（利用しよう）

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えているという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.574
令和3年4月発行
農業水産局農政部食育消費流通課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6434